

『旧統一協会については、京都市政、行政として一切関わりを持たない』

党議員の追及に 市長が明言

10月20・21日、京都市会9月定例会で、決算特別委員会市長総括質疑が行われ、党議員団から10人の議員が質問に立ちました。

20日の質疑では、やまね智史市議が、旧統一協会について質疑。「政治家や行政が関わりを持ってきたことが、反社会的団体に『お墨付き』を与えることになった。市長自身ならびに京都市として、統一協会及びその関連団体とは、**一切関係を持たないと明言を**」と迫り、市長は「反社会的行動もあった団体と認識している。私自身も、市としても、統一協会とは関係を持たないとしっかり胸に刻んで取り組んできた。」と答弁しました。そこで、関連団体を含め、「可能な限り調査対象を広げ、過去に遡って関係がなかったか調査すべき」と追及。副市長は「調査に限界がある。**現時点で改めて全ての調査をする考えはない**」「法整備など注視したい」との答弁にとどまりました。党議員団の調査で明らかになった事実として、

「**京都マラソンの大会ボランティアに関連団体が4年間登録していた**」ことに続き、「**街路樹サポーターに旧統一協会本体『世界平和統一家庭連合』が登録している**」ことを明らかにし、「今すぐにでもサポーター登録を取り消すべき」「市長が答弁を」と厳しく迫りました。

市長は「率直に言って**痛恨の極み**。この3年間活動実績もない。改めて、旧統一協会については**京都市政、行政として一切関わりを持たない**。サポート団体から早急に外れてもらう、縁を切る」と約束しました。

市長は「率直に言って**痛恨の極み**。この3年間活動実績もない。改めて、旧統一協会については**京都市政、行政として一切関わりを持たない**。サポート団体から早急に外れてもらう、縁を切る」と約束しました。

このほかにも、**京大 CARP (原理研)** が、「メンバーが週2回の頻度で小学校に行き、担任の先生の補助をしているんです！生徒が分からないところを教えてあげたり、給食を一緒に食べたり、掃除を一緒にしたり、休み時間に遊んだりしています」「愛を通して小学生に夢と希望を与え、為に生きる素晴らしさを伝えます、というミッションを掲げてこのプロジェクトに取り掛かり始めました」とフェイスブックで公表(2015年)しており、まさに統一協会の考えそのものを小学生に伝える団体の活動を宣伝していることを示し、京都市は利用されている。危機感を持つべきだと強調し、いっそうの取り組み強化を求めました。

